

平成28年8月19日
帯広開発建設部

平成28年台風第7号による降雨に伴う出水の概要

～9年ぶりに北海道に上陸した台風に対応しました～

帯広開発建設部では、平成28年台風7号に伴う出水の概要について、以下のとおりとりまとめましたのでお知らせします。

十勝地方では8月17日の夕方から夜にかけて、激しい雨が降り、非常に強い風が吹きました。今回の降雨に伴い、十勝川水系の複数の河川において避難判断水位を観測するなど、ここ数年では大きな出水となりました。このため帯広開発建設部では、河川や砂防施設の巡視のほか、リエゾンやTEC-FORCEの派遣などを行いましたので、資料により概要をお知らせします。

(資料の概要)

- ・ 気象の概要 (台風経路図、降水の状況 など)
- ・ 出水の概要 (基準水位超過状況)
- ・ 帯広開発建設部の対応 (河川・砂防施設巡視、洪水監視、リエゾン^{※1}・TEC-FORCE^{※2} (排水ポンプ車の派遣状況) など)
- ・ 治水事業の効果 (利別川河道掘削、十勝ダム、札内川ダム)

※1 リエゾン (現地情報連絡員)

災害時、当部から自治体へ連絡員を派遣し、両者相互の情報共有や連携を密にするものです。

※2 TEC-FORCE : Technical Emergency Control Force の略。

大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、円滑かつ迅速に災害対応の支援を行うことを目的に、被災した地方公共団体等に国土交通省のエキスパート職員を派遣するものです。

【問合せ先】 北海道開発局 帯広開発建設部 電話(ダイヤル)0155-24-4105

治水課 課長 中島 康博 (内線 291)

治水課 課長補佐 中田 悌二 (内線 292)

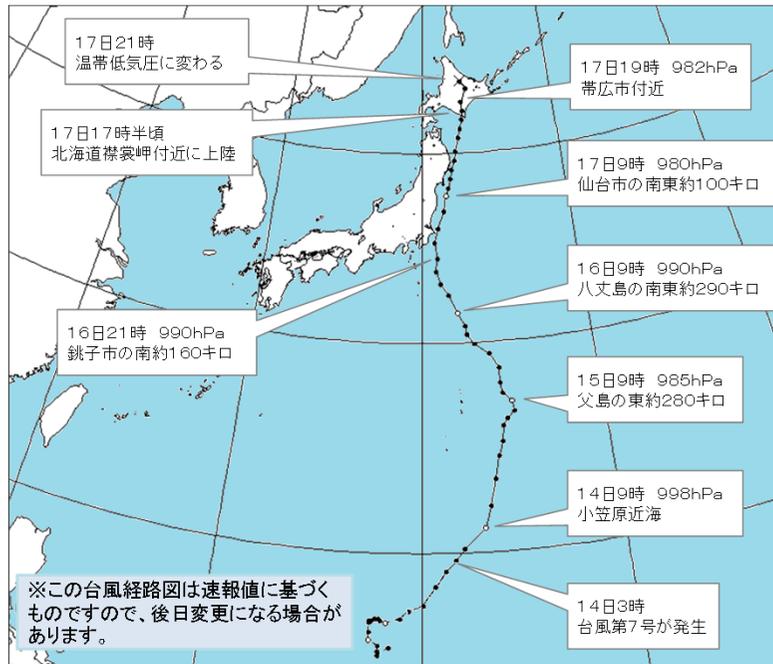
平成28年8月17日の台風第7号
による降雨に伴う出水の概要
【速報】

国土交通省 北海道開発局
帯広開発建設部 治水課
平成28年8月19日

気象の概要

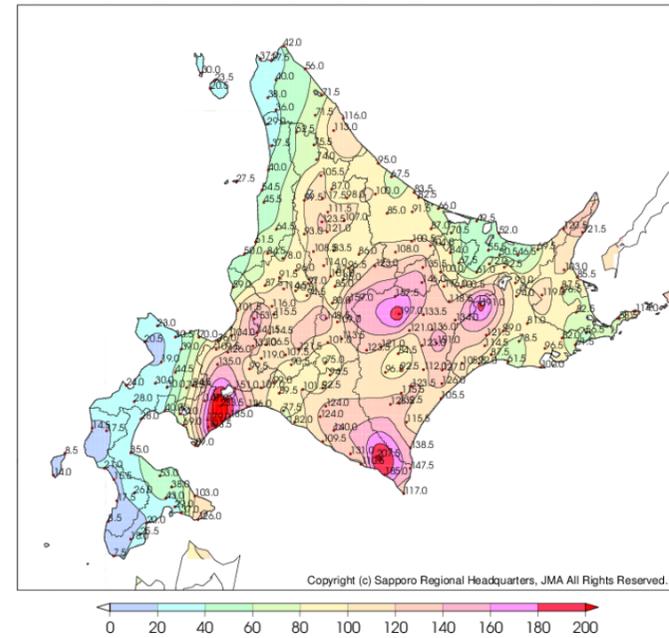
台風7号の影響により、8月17日から18日にかけて、十勝の広い範囲で大雨になりました。特に、札内川流域は激しい降雨に見舞われ、記念沢雨量観測所では、降り始めからの雨量が210mmを観測しました。※速報値のため、数値は変わる可能性があります。 ※図は帯広測候所提供

台風経路図(平成28年台風第7号)

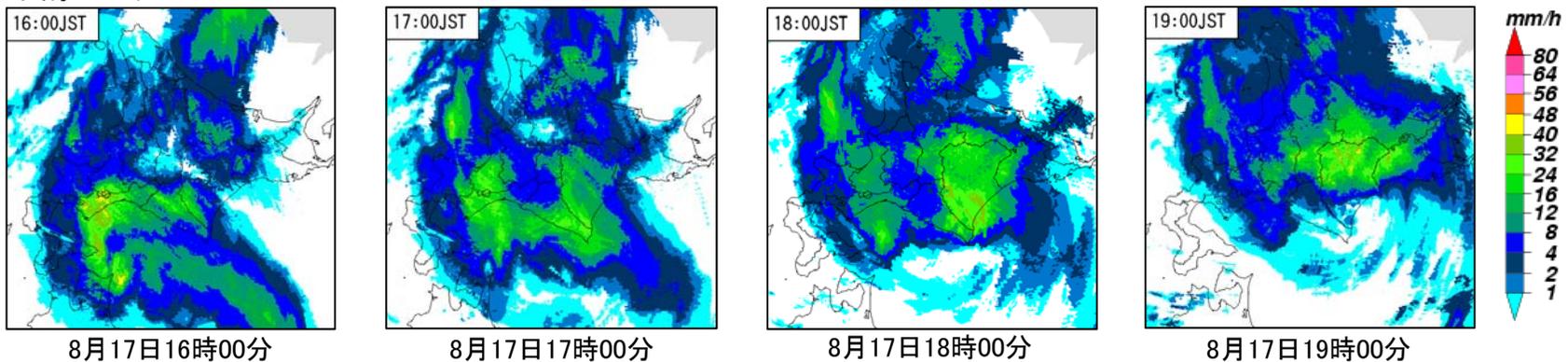


降水の状況

降水量合計 (mm) 2016/08/16 00:00 - 2016/08/18 00:00



気象レーダー

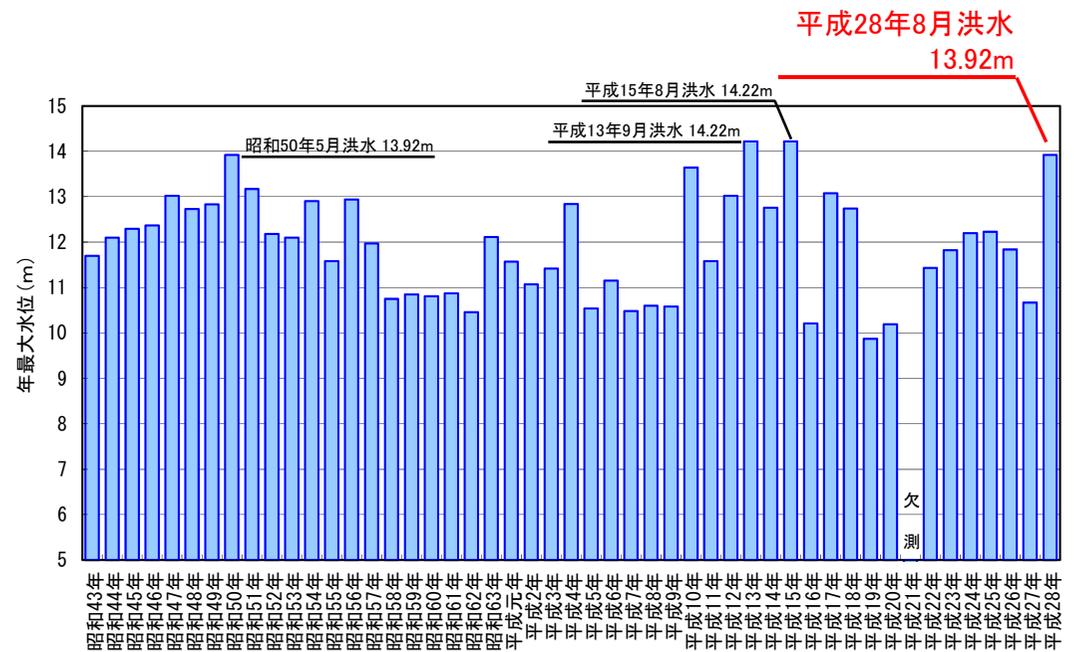


出水の概要

- 台風第7号に伴う大雨により、十勝川水系の各河川で水位が上昇しました。
 - ・3河川3観測所(利別川～東橋、十弗川～東台1号橋、浦幌十勝川～十勝太)で避難判断水位を上回る水位を記録しました。
 - ・8河川9観測所(十勝川～大津、茂岩、札内川～札内、利別川～利別、士幌川～旭橋、途別川～千住12号橋、猿別川～止若、牛首別川～農野牛、下頃辺川～太平橋)で氾濫注意水位を上回る水位を記録しました。
 - ・3河川7観測所(十勝川～芽室太、帯広、千代田、音更川～士幌、音更、札内川～第二大川橋、南帯橋)で水防団待機水位を上回る水位を記録しました。
- これを受け、帯広開発建設部は以下のとおり取り組みました。
 - ・基準水位の超過を受け、8月17日から河川管理施設のパトロールを開始しました。
 - ・十勝川(7か所)、利別川(1か所)、牛首別川(2か所)では、排水施設が稼働し内水排除を実施しました。



十勝川流域図



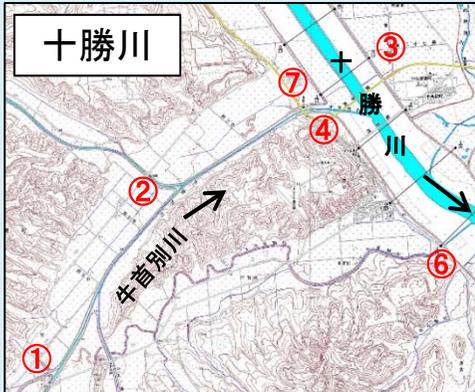
利別川(利別観測所)年最大水位

※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

帯広開発建設部の対応

【排水機場の稼働状況と浸水の状況】

- ・音更川右岸において、町道等が浸水しました。
- ・帯広開発建設部では、浸水被害を防ぐために10箇所の排水施設を稼働し、内水を排除しました。



左図○ 町道等の浸水状況(音更町)

排水状況の確認

左図①～⑩ 稼働した排水機場一覧

No.	河川名	市町村名	排水機場名	稼働時間
①	牛首別川	豊頃町	石神救急排水施設	約5時間稼働
②	牛首別川	豊頃町	牛首別救急排水施設	約5時間稼働
③	十勝川	豊頃町	育素多排水機場	約37時間稼働
④	十勝川	豊頃町	茂岩市街裏救急排水施設	約19時間稼働
⑤	利別川	池田町	池田排水機場	約8時間稼働
⑥	十勝川	豊頃町	下牛首別排水機場	約28時間稼働
⑦	十勝川	豊頃町	農野牛救急排水施設	約21時間稼働
⑧	十勝川	豊頃町	大津救急排水施設	約11時間稼働
⑨	十勝川	豊頃町	寒々平救急排水施設	約17時間稼働
⑩	十勝川	豊頃町	寒々救急排水施設	約14時間稼働

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情複、第506号)

【河川巡視・砂防施設巡視】

帯広河川事務所及び池田河川事務所職員が、昼夜を問わず河川を巡視し、地域の安全確保に努めました。



樋門箇所の点検



橋からの河川内点検



砂防施設の点検

【洪水監視】

24時間体制で雨量及び水位を監視し、地域を守るために水防警報を発信しました。



災害対応記録状況



洪水予測システム操作状況

帯広開発建設部の対応(地元市町村への協力①)

【リエゾンの派遣】

災害情報の収集及び災害応急対策の支援等を行うため、十勝総合振興局と足寄町に対し、8月18日に帯広開発建設部からのべ6名のリエゾンを派遣しました。

※リエゾン(現地情報連絡員):

災害時、当部から自治体へ連絡員を派遣し、両者相互の情報共有や連携を密にするものです。



十勝総合振興局に派遣されたリエゾンの活動状況

【TEC-FORCEの派遣】

足寄町では8月17日23時40分に避難指示が発令され、利別川・足寄川の越水により住宅地で浸水被害が発生したことから、足寄町からの要請を受け8月18日11時から18時まで計3名のTEC-FORCE(緊急災害派遣隊)を派遣しました。排水ポンプ車1台、照明車1台を稼働させ、浸水した住宅地の排水を迅速に行い、復旧作業支援・技術的支援を実施しました。

※TEC-FORCE: Technical Emergency Control Forceの略
大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、円滑かつ迅速に災害対応の支援を行うことを目的に、被災した地方公共団体等に国土交通省のエキスパート職員を派遣するものです。



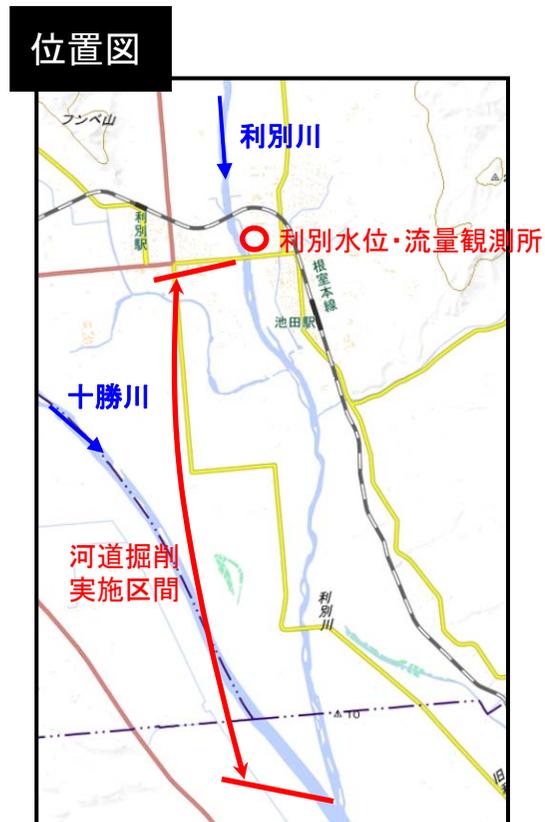
排水ポンプ車による排水作業状況

治水事業の効果

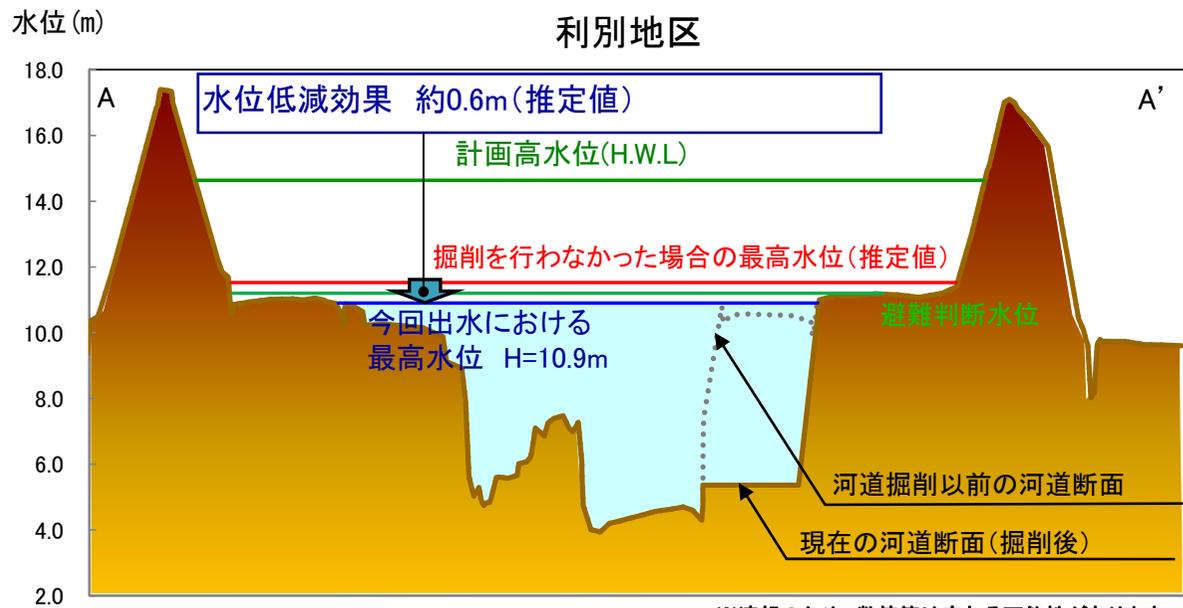
【河道の掘削で池田町市街を流れる利別川の水位を低減】

河道を掘削し、洪水の流れる断面積を大きくし、水位を下げる取り組みを順次実施しています。
利別川では、池田町市街下流から河道掘削等を進めています。今回の出水では、**利別川の河道掘削により0.6m程度水位を低減させ、避難判断水位を超えずにすんだ**と想定されます。

◆利別川 利別地区



■利別地区の低水路を掘削し、洪水時の水位低下を図っています。



※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

治水事業の効果

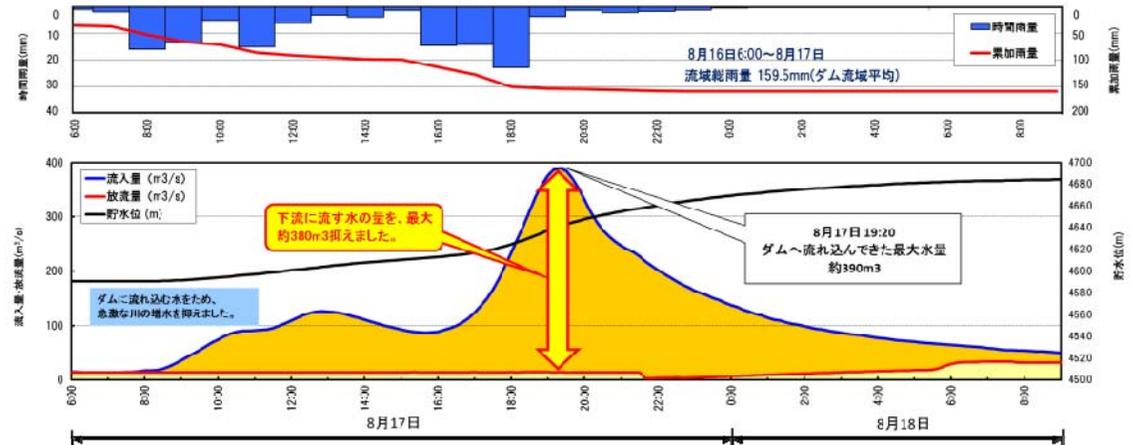
ダム整備が効果を発揮（北海道 札内川ダム）（国管理）

- 平成28年8月台風7号降雨により、札内川ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 札内川ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の帯広市（南帯橋水位観測所）では、水位を約0.5m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫注意水位※1を上回る出水となったことが想定されます。

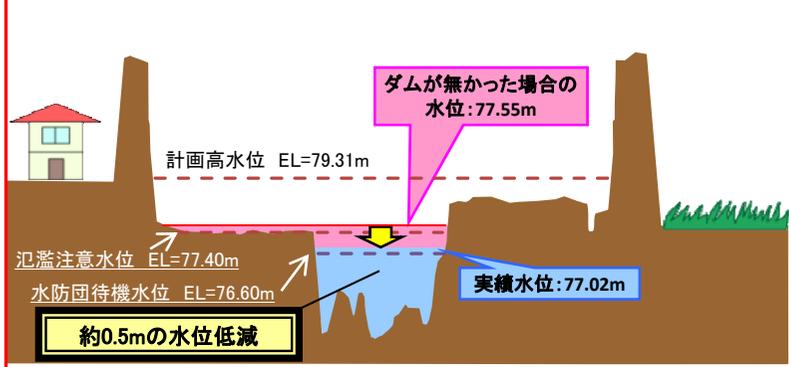
※1 氾濫注意水位：水防団の出動の目安となる水位。



札内川ダムの防災操作



南帯橋水位観測所地点における水位低減効果



札内川ダム貯水状況



南帯橋水位観測所付近



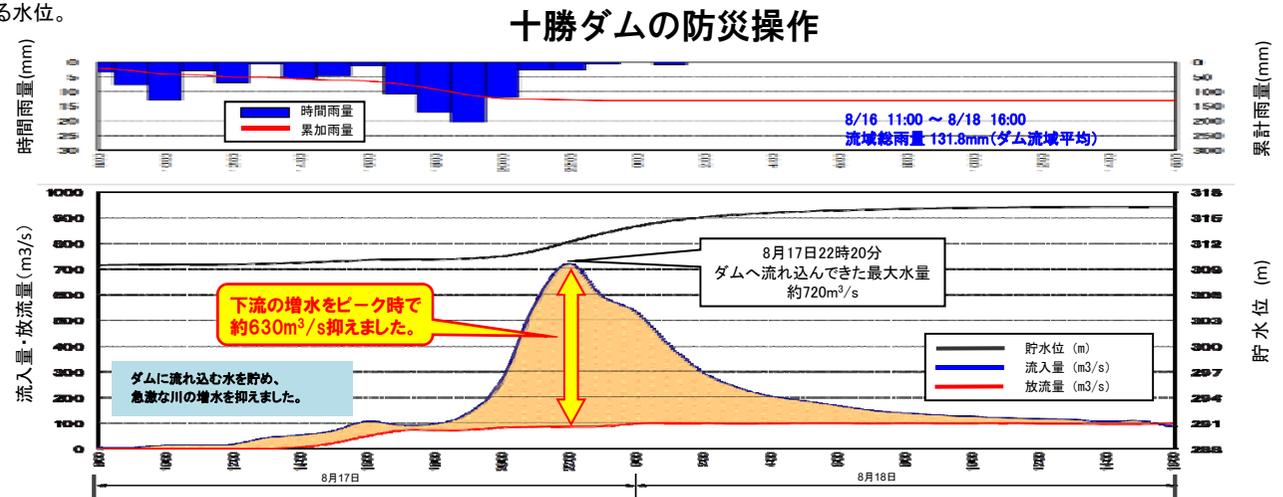
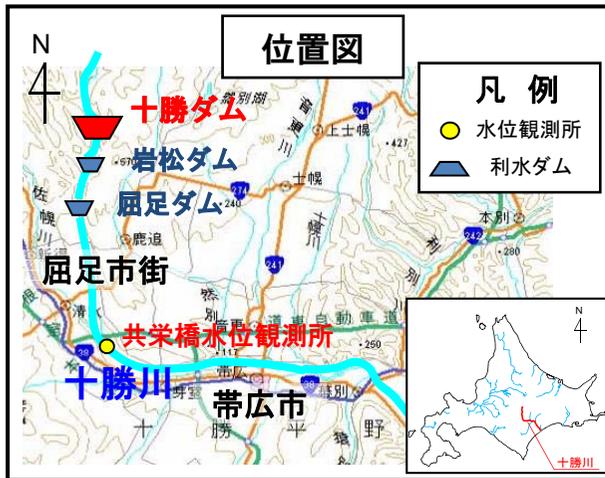
※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

治水事業の効果

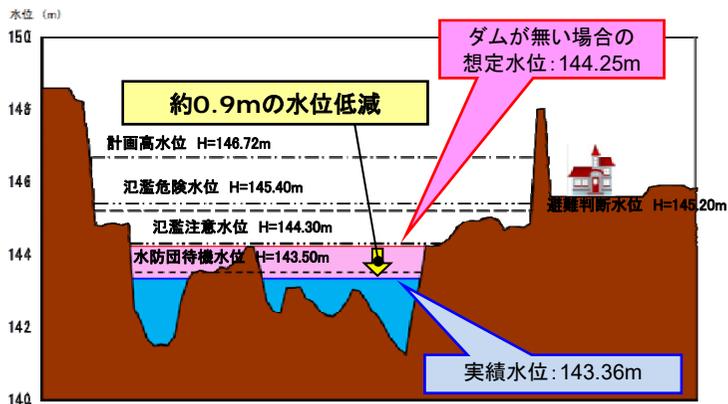
ダム整備が効果を発揮（北海道 十勝ダム）（国管理）

- 平成28年8月台風第7号に伴う降雨により、十勝ダムにおいては、**既往3番目の流入量を観測。**
- 十勝ダムの洪水調節等によって下流河川の水水位低減を図り、下流の清水町（共栄橋水位観測所）では、**水位を約0.9m低減させる効果があったものと推測されます。**
- 仮にダムが整備されていなければ、**水防団待機水位※¹を上回る出水となったことが想定されます。**

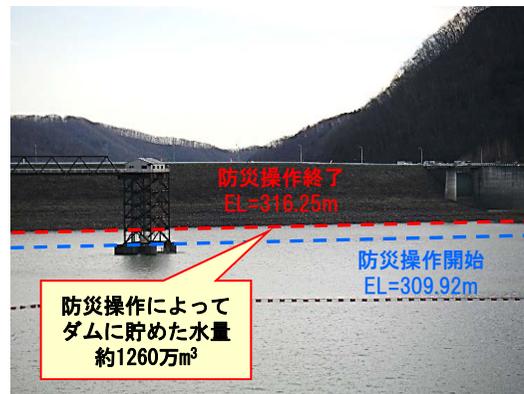
※1 水防団待機水位:水防団が水防活動の準備を始める目安になる水位。



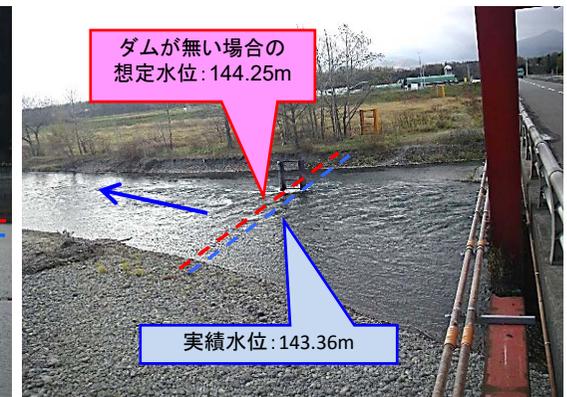
共栄橋水位観測所地点における水位低減効果



十勝ダム貯水状況



共栄橋水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。